

第31号議案

平成30年度使用小学校教科用図書採択について

上記の議案を提出する。

平成29年8月8日

提 出 者 文京区教育委員会

教育長 南 新平

**時 限 秘**

平成 29 年 8 月 31 日まで

**平成 3 0 年度より使用する  
文京区立小学校教科用図書について**

**平成 3 0 年度使用文京区立小学校教科用図書審議会**

**答 申**

**平成 2 9 年 7 月 2 0 日**

## 特別の教科 道徳

道徳科の目標は、道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることである。

この目標に照らして、「特別の教科 道徳」の教科用図書としては、道徳的諸価値について自分との関わりも含めて理解し、物事を多面的・多角的に考え、判断する能力、道徳的心情、道徳的行為を行うための意欲や態度を育てることが重要な視点である。

東京書籍は、人生や日常生活に生かせる道徳性を養い、自分の生き方を主体的に考え判断したり、意欲的に行動したりするよう編集されている。

問題解決的な学習を定番教材で具現化できるよう、「とびらページ」で強調するとともに、問題解決に向けた話し合いを促す「考えるステップ」を示すなど、子どもたちが直接、対話的に学習できるところが、文京区の児童の実態に合っている。また、発問を2問に絞っているため、考え議論しやすい内容となっている。直接的・間接的教材等を組み合わせたユニット「いじめのない世界へ」では、いじめ問題について考えられる。高学年では教材に長いものがあり、子どもたちに焦点化して考えさせる工夫が必要である。

学校図書は、「生命の尊さ」「思いやり」「伝統的な文化」を大切にし、自分たちの未来に希望と夢が育めるよう編集されている。「活動」が別冊となっている。

「読みもの」では、発問を記載しないことで、子どもたちの主体的な学びを促しつつ、授業展開ができるようにしている。また、別冊の「活動」では、内容項目ごとに見開き構成で、問題解決的な学習ができるようにマークで示し、授業の流れが見えるように配慮している。発問は教材に即して「かんがえよう」「みつめよう」を中心に掲載されている。別冊の「活動」ではスペースが大きく使用上の工夫が必要である。いじめの防止は、「大縄跳び」など日常場面や多様な立場の人々を取り上げ共に生きる心を育める。

教育出版は、子どもたちを取り巻く「いじめ問題への対応」「生命尊重」「情報モラル」といった教育的課題を大切に編纂されている。

iPS細胞など現代的な課題に触れた教材や、教科書全体を通して先人や偉人に学ぶ教材、さらに、礼儀とマナー等の内容が充実している。特に低学年では巻末資料で、モラルスキルトレーニングといった体験的な活動を通して、学ぶことができる。「学びの手引き」は、発問がすべて示されており、現在使用している国語の教科書と似ている。「学びの手引き」により、教員は指導が進めやすいが、発問数が多く、一つひとつの問いにおいて、子どもたちの考えが深められるよう指導上の工夫が必要である。

光村図書出版は、教員が指導しやすいように、学校生活の実態と子どもたちの1年の成長を考慮して編纂されている。

「生命の尊さ」については、全学年に3教材掲載し、発達段階を踏まえて系統的に学べるようになっている。また、「子どもたちの権利条約」を教材にしたり、文京区の地域教材

を活用したりしているところや、教材の内容が葛藤で終わる資料が多く、考えることを重視した編成となっている点は、文京区の児童の実態に合っている。一方で、教材が充実しているため、国語の読解のような授業にならないよう、指導上の工夫が必要である。

日本文教出版は、子どもたちに学ぶ意義や学び方を発達段階に応じて指導できるよう編集されている。「道徳ノート」が別冊となっている。

問題解決的な学習に適した教材では、児童の学びの参考例として、「学習の手引き」を設けている。教材と「心のベンチ」というコラムを活用することで、いじめ問題については、誰もがいじめと向き合う当事者であるとして、考えを広げ深めることに繋げようとしている。防災教育の資料が全学年に記載されている。別冊の「道徳ノート」は、子どもたちが考えを書くことができ、教員にとって評価しやすい面もあるが、授業で書く活動に時間を取られないよう指導上の工夫が必要である。

光文書院は、子どもたちが問いをもち、考えを深める道徳の授業を主体的・対話的に行うことができるよう編集されている。

ソチオリンピックを題材にするなど、オリンピック・パラリンピックの教材が全学年に記載されている。授業の構成については、キャラクターによる問いかけ等により、導入から展開まで議論を深めるとともに、授業の終末では、道徳性を広げ深め、日常生活に生かせるようにしている。いじめ問題では、問題の解決にとどまらず、道徳的価値観を再構築させる工夫がある。ただ、教材文が縦書きで、発問が横書きになっているため、指導上の工夫が必要である。また、資料や写真等をA4変型版で大きく示している。

学研教育みらいは、肯定的な見方や考え方を育て、夢や希望をもって力強く歩めるようにするとともに、子どもたちの主体性を引き出すよう編集されている。

定番教材と、今を生きる人や先人から子どもたちの問題意識を育む教材、防災教育などの新しい教材をバランスよく配列し、1年間の学びを大切にしている。また、主題名を教材には提示せずに、子どもたちの自発的な問題意識をもたせている。挿絵や資料を大きくすることで、情報を基に考えることができるように、A4版として大きく編集している。しかし、低学年の児童にとっては、取り扱いにくいことも考えられる。「やってみよう」は、具体的な事例を取り上げており、実際の生活に広げられる内容となっている。

廣済堂あかつきは、子どもたち自らが、考えたり、話し合ったりしたくなる授業にするよう編集されている。「道徳ノート」が別冊となっている。

「本冊」は文字が多いが、自己の生き方について考えを深められるように工夫をしている。また、いじめ問題については、教材を通して考えを深めるように工夫されている。オリンピック・パラリンピックの教材は、全学年に記載されている。別冊の「道徳ノート」では書くことを通して、道徳的価値の理解を確かなものに行っているが、授業の学びを深められるよう指導上の工夫が必要である。「考えよう 話し合おう」では、学習の手がかりを示すことで、道徳的価値に関する問いを促す工夫をしている。

平成30年度使用小学校教科用図書審議会 委員名簿

	氏 名	備 考
区民委員	鈴木 幸 太 郎	小学校PTA会長
区民委員	磯 崎 啓 太	小学校PTA会長
区民委員	安 田 綾 香	公募
区民委員	阿 久 津 千 秋	公募
学校関係者委員	田 中 純 一	関口台町小学校長
学校関係者委員	小 池 夏 子	柳町小学校長
学校関係者委員	溝 畑 直 樹	明化小学校長
学校関係者委員	西 田 義 貴	誠之小学校長
教育委員会関係者委員	植 村 洋 司	教育推進部教育指導課長